

3 ディベートの展開大要

(1) ディベートのテーマ

「中学生は、コンビニ弁当より手作り弁当にするべきである」

(2) ねらい

- ・本テーマを討論することにより、自分の健康のために、食事を整える必要性を認識させる。
- ・手作り弁当は、栄養価が分かりにくいことから、コンビニ弁当と比較させることで、栄養に関する基礎的・基本的な知識をもたせる。
- ・手作り弁当は、作る時間が必要である。短時間に手際よく調理する重要性を感じとらせ、調理における技術の向上と意欲の喚起を図る。

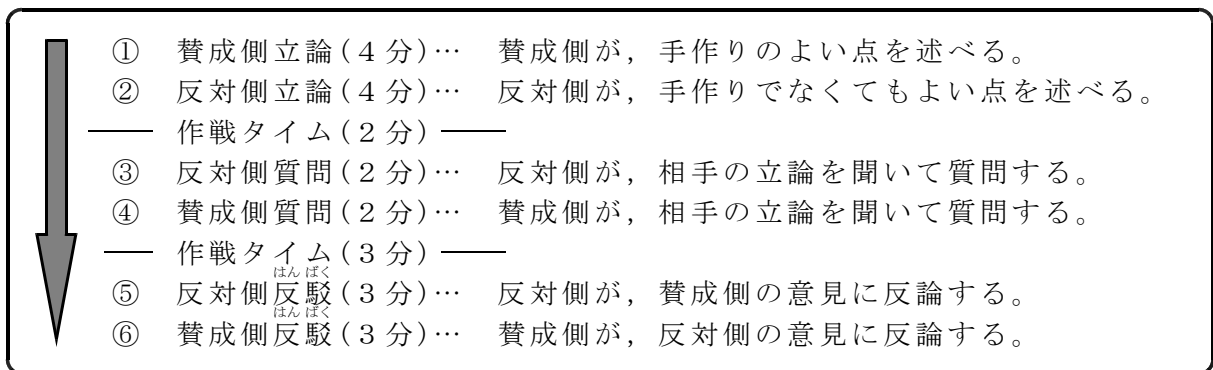
(3) 展開の大要

★ ルール

- ・本ディベートは、「賛成側」（弁当は手作りがよい）と「反対側」（弁当は手作りにこだわらず、コンビニ弁当でもよい）に分かれて討論する。
- ・「賛成」「反対」は、くじによって決める。したがって、どちらになっても討論できるように、調べ学習を行わせておく。
- ・試合は、学級を4グループに分け、（賛成2・反対2）前半戦・後半戦の2回実施する。試合に参加しない班は、審判員になる。

※時間の余裕があれば、班員を減らし、対戦回数を増やすとよい。

★ 試合の流れ(簡易形式)



★ プラン(4つの条件)

- ・両者の勝敗に偏りが生じないようなプランを提示する。

	プラン(4つの条件)	提 示 意 図
①	コンビニ弁当はすぐ食べられる物とする。	←カップラーメンを除かせる。
②	弁当は、自分で作る。	←自分で作ることを意識させる。
③	弁当は、1時間以内で作る。	←作る時間や手間について意識させる。
④	手作り弁当には、加工食品を加えてもよい。	←食品添加物の公平性と基礎を学ばせる。